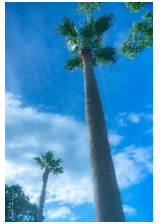


医師会だより



医療崩壊

適切な医療を受けられない

医療崩壊とは「医療提供体制の不足から病気の人が適切な医療を受けられない状態」のことです。

今回の新型コロナウイルス（以下、コロナ）感染症の急激な拡大で感染した人が適切な医療を受けられない状態に加えて、コロナ感染症の治療や対策に人材や器材を取られ、今まで治すことができたコロナ以外の病気やケガの人の治療もできなくなる状態が都市部で起きました。

感染症病床の減少

流行で一度に多くの死者を出す感染症は指定感染症として感染症法で保健所や県が指定する医療機関で管理・治療を行うように定められています。我が国は病床が多いと言われていますが、感染症の流

「あなたの笑顔が必要です」大村市医師会潜在看護師研修事業

行がなくなった昨今では感染症指定病床は減り、病床の多くは癌や生活習慣病、ケガの治療、病後の回復療養を行う病床となっています。また、医療費抑制のため病床機能に応じた病床を分類・削減する政策がとられてきました。

病床機能の役割分担

今回のコロナ感染症の大流行では想定を超える多くの感染患者が出ています。高度医療を余儀なくされる重症者も多く、中軽症であっても必ず入院、あるいは隔離措置が必要のため、一般病床を不足した感染症病床へと転換し対応しています。感染症治療は院内感染防止のため病室の隔離と感染防止の特別な技術と注意が必要です。全ての医療機関がすぐに対応できるわけはありません。そのため、回復した重症者をリハビリ、回

復期病床への転換ができず、重症病床に患者がとどまり新たな重症患者を受け入れることができなくなり、中軽症者病床も溢れて、ホテルや自宅での療養が行われます。この一年間の知見から二次感染のリスクが低いと思われる感染者を速やかに退院、転床し病床を確保する方針が打ち出されました。危機的状態を民間の医療機関も理解し受け入れに努めています。

一般診療の受け入れ困難

コロナ感染症の患者が増え、減るわけではなく、その治療は続けねばなりません。今以上に早くコロナ感染症の治療を最優先で各医療機関が努力しているところです。流行が続くと各医療機関では病床や人材が枯渇し一般診療の患者が受け入れ困難となります。第4波では長崎県でもその一歩手前まで来ました。

感染防止が最大の方策

医療従事者も皆さんも疲れきっていることと思いきつ、第5波の襲来が近づきつつあります。皆さんの感染防止の行動が医療崩壊を防ぐ最大の方策です。

看護師への復職を考えている方、復職のための研修を受けてみませんか。詳しくは大村市医師会まで。

コロナワクチン、打つならどっち？

ファイザー、モデルナの2種類

ファイザーのワクチンとモデルナのワクチン、どちらが優れているか、という質問をよく聞かれます。ファイザーのワクチンは、接種後、約1週間程度で効果が現れ、約95%の効果が期待できます。モデルナのワクチンは、接種後、約2週間程度で効果が現れ、約94%の効果が期待できます。どちらも、接種後、約1週間程度で効果が現れ、約95%の効果が期待できます。どちらも、接種後、約2週間程度で効果が現れ、約94%の効果が期待できます。

【医心伝心】いよいよ期待と不安が入り混じった東京オリパラが開幕します。ウイルスを吹き飛ばし世界中の人達を元気にしてくれる様な選手たちの活躍を期待します。

対象年齢は18歳以上、接種後、約1週間程度で効果が現れ、約95%の効果が期待できます。どちらも、接種後、約2週間程度で効果が現れ、約94%の効果が期待できます。どちらも、接種後、約1週間程度で効果が現れ、約95%の効果が期待できます。どちらも、接種後、約2週間程度で効果が現れ、約94%の効果が期待できます。